

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【農林部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 新規就農者となりたいと思うような情報の提供や施策を講じられたい。</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 生産地の食を生かした地域活性化策を推進されたい。</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 林業振興策や森林の活用策を具体的にせめされたい。</p>	<p>本市では、令和2年度から戦略プロジェクトとして「未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト」に取り組んでおり、魅力ある農業を創出していくため、若者を中心とした意欲ある農業の担い手の育成に努めてまいります。</p> <p>市独自の事業として、平成29年度に新設した親元で新規就農する55歳以下の後継者に対して、年間60万円を上限に最長2年間交付する親元就農給付金事業を継続しておりますほか、市長も自ら新規就農者を訪問し、市民への就農意欲の喚起にも繋がるよう激励する取組を進めているところです。</p> <p>今後におきましても、国の農業次世代人材投資事業なども最大限に活用しながら、農業者の育成・確保に向けた「伴走型」の支援による取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p> <p>生産地の食を生かした地域活性化策の推進につきましては、本市の特産である「盛岡りんご」「津志田の里芋」「アロニア」「行者にんにく」「もりおか短角牛」「黒平豆」等について、「美食王国もりおか」ウェブサイトやリーフレット等を活用した魅力発信やイベントでの活用など、周知に努めております。</p> <p>また、「盛岡の美味しいもんアンバサダー」のテーマ食材にも位置づけ、メニュー開発に取り組む飲食事業者等を支援するほか、「もりおかの食と農バリューアップ推進事業」において、盛岡の「食と農」の魅力とその他の地域資源を体験できる産地見学ツアーを開催するなど、交流人口の増加を図っております。</p> <p>今後も、引き続き生産地の地域活性化に繋がる取組を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p> <p>林業振興策につきましては、市内の森林の多くが利用期を迎えていることから、森林資源の循環を進めるため、再造林に対する支援、盛岡バスセンターなどの公共施設整備や公共工事等への市産材の積極的な利用、市産材利用住宅や店舗への助成、町内会等への市産材の支給、並びに木質バイオマスの普及促進などにより、市産材を中心とした木材の需要拡大を図ってまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 六次産業化の強化をされたい。農家レストランや農家民宿を推進する施策を図られたい。</p>	<p>また、手入れが遅れている森林の整備を進めるため、令和元年度から譲与が始まった森林環境譲与税も有効に活用し、森林経営管理の集約化に向けた取組を進めるとともに、高校生等を対象とした林業等事業所見学会の開催などによる林業の担い手の確保、市産材ベンチ開発などによる市産材の利用促進などを進めてまいります。</p> <p>森林の活用策につきましては、外山森林公園、都南つどいの森及び平成市民の森を整備しており、森林ボランティアの活動の場や森林散策など市民の憩いの場として利用されておりますことから、今後も、子どもたちや市民の森林環境教育の場として、さらなる取組の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部林政課）</p> <p>6次産業化の強化につきましては、平成30年度に「6次産業化等スタートアップ支援事業」を新たに立ち上げ、生産者が自らの生産物を加工販売するための取組に対して補助金を交付する支援を行っております。30年度は6件、令和元年度は10件、令和2年度は9件の取組が採択されるなど、6次産業化等への関心が高まっていることから、補助金交付に加え、令和2年度から新たに「6次産業化等人材育成セミナー」を実施し、意欲的に6次産業化に取り組む人材の確保と専門家による相談会の開催等、支援体制の強化を図っております。</p> <p>農家レストランや農家民泊の推進につきましては、市内横断的に土地利用のあり方について検討会を開催しており、その中で、中山間地域をはじめとする市街化調整区域の無秩序な開発につながらないように留意した、農村地域の活性化につながる取組を検討してまいります。</p> <p>また、関係機関・団体、農家レストランや農泊を実施している事業者等で組織する盛岡市グリーン・ツーリズム推進協議会等において、情報発信、普及・啓発等に関する活動を行っていることから、今後も協議会等と連携し、情報交換や調査研究に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 生産品の販売網の開拓や強化とあわせてまた、高付加価値品の栽培を検討されたい。</p>	<p>生産品の販売網の開拓や強化につきましては、現在行っている「美食王国もりおか」ウェブサイトを活用した「食と農」の魅力発信や「6次産業化等スタートアップ支援事業」による加工品の開発・販路拡大の支援を継続し、今後も盛岡産農畜産物の販路拡大や魅力発信に取り組んでまいります。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 農業と福祉分野の連携を促進されたい。高齢者・障がい者の生きがいのための農業との連携を推進されたい。</p>	<p>また、付加価値の高い農作物の導入につきましては、農業協同組合や農業改良普及センターと連携のうえ推奨し、農家所得の向上に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p> <p>農福連携の取組につきましては、盛岡市農政フォーラム2020で、「食・農・福祉の連携による新たな共生社会づくり」をテーマに基調講演とパネルトークを開催し、市民に広く周知する機会を設けました。</p> <p>これまでに、庁内関係部署や岩手県社会福祉協議会（農福連携コーディネーター）との意見交換会や、本市の果樹農家と福祉事業所とのマッチングの現場視察などを通じ、農福連携の現状と課題について情報収集を行っております。</p> <p>また、本市が構成団体である盛岡地方農業農村振興協議会では、令和2年度から新たに「農福連携推進事業」に着手しており、農福連携の研修会や事例見学会を開催し、地域の多様な働き手の確保に向けて取り組んでおります。</p> <p>今後におきましても、関係者と連携しながら情報共有を強化し、高齢者・障がい者の生きがいのための農業について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 福祉や教育、コミュニティー形成のための事業に利用する場合、遊休地、耕作放棄地を斡旋する仕組みを検討されたい。</p>	<p>遊休地、耕作放棄地での開発行為は、福祉施設や教育施設、コミュニティー形成のための開発においても都市計画法及び農業振興地域の整備に関する法律における開発許可が必要になることから、具体的事案に応じて対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（農林部農政課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ スマート農業の促進を図られたい。</p>	<p>スマート農業の促進につきましては、令和2年度から本市独自の取組として、農業用ドローンの購入費、オペレーター講習の受講費を一部補助する「スマート農業導入促進事業」を創設しており、当初の見込みを大きく上回る申請件数を受け付けております。</p> <p>農業用ドローンは、水稻栽培の病虫害防除のための薬剤散布や肥料散布等での使用が想定され、農業者の高齢化や担い手の不足に悩む生産現場において、作業効率の向上、労働力の軽減、コスト削減等が期待されているところです。</p> <p>また、平成31年2月には「盛岡市環境制御技術研究会」を設立し、収益性の高い農業経営を実現する次世代型の施設園芸モデル育成のため、先進事例の調査や関係者の相互交</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和3年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>○ 農業機械の買い替えに対する支援策を講じられたい。</p> <p>○ 産官学連携による農業系大学卒業の女子の就農・定住支援を図られたい。</p>	<p>流に取り組んでおります。 今後におきましても、引き続き、ドローンのほか、スマート農業を促進する取組の可能性について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p> <p>農業機械の買い替えについては、農地中間管理事業における地域集積協力金や中山間地域等直接支払制度の交付金などの活用により、地域に農業機械を導入する取組を支援できることから、今後は更にこれらの制度活用の周知に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p> <p>女性農業者への支援につきましては、産官の団体等により構成される盛岡地方農業農村振興協議会の事業において、若手女性農業者の農業経営力の向上を図るための研修会・交流会の実施や次世代女性リーダーの育成支援に取り組んでおります。 今後は、農業を学ぶ女子学生及び卒業生の就農・定住につながるように、当該事業と農業系大学との連携の可能性について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(農林部農政課)</p>